

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月10日更新

事務事業名		伝統郷土芸能等支援事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	3	教育の健幸		所属部	教育委員会事務局	課長名	渡辺 良輔
	施策	13	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成		所属課	生涯学習課	担当者名	前田 純子
	業務分野	44	歴史・伝統文化(文化財を含む)の保護と継承		所属班	生涯学習班	(内線)	1502
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 7	事業連番 10927	法令根拠	文化財保護法 合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	域の伝統・文化・芸能・歴史を学ぶことを通じて、郷土愛を醸成し、をれらを伝承していく後継者の育成支援(上ノ庄城山まつり・合志市郷土史愛好会・竹迫観音祭り実行委員会・須屋神楽保存会・西合志弁天太鼓保存会・須屋小屋地蔵祭実行委員会・弘生ウソ替の会・須屋太鼓保存会・黒石神楽保存会・合志町高千穂神楽保存会)を目的としている。 また、伝統郷土芸能の保存・振興を図ることを目的として開始されたが、少子高齢化や、若者の都市部への流出などにより、後継者の育成や確保が困難になっている団体もある。今後、そのような団体に対して、どのような方策を取っていくかが課題となっている。
【業務の流れ】	補助金交付に係る申請の受理・審査・交付決定・支払・交付確定
【主な予算費目】	負担金補助および交付金(補助金)

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

【目的】生涯学習の振興を図るため、社会教育団体等に対し、予算の範囲内において補助金等を交付する。  
 【内容】補助金を交付し、各種保存団体等の後継者育成支援、伝統芸能等の活動存続に繋げる。  
 【実績】補助金交付による各種保存会等(申請があった6団体)への支援を行った。  
 【成果】補助金交付を通じて、各種保存団体等の後継者育成支援、伝統芸能等の活動の存続及び郷土愛の醸成を図ることができた。

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)

補助金交付による各種保存会等(8団体)への支援や、各種助成金等の案内を行った。

③予算の主な増減の理由

補助交付対象団体の新規追加(竹迫初市)による補助金の増内を行った。

成果指標

ア 保存・継承できた保存団体の割合

(単位)

データ取得方法

→イ  
ウ

%

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	%	100	100	100	87	100	100	100	100
イ									
ウ									
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	517	497	439	439	597	597	597
	(A) 事業費計	千円	517	497	439	439	597	597	597

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

伝統文化・芸能の保存・継承は後継者の確保育成が困難であり、年々活動団体が減少しているところであるが、各団体とも当初の事業を実施することができた。

(4)今後の事業の方向性

廃止  縮小  事業のやり方改善  現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)